



Daiwa House
Group

報道関係各位

N e w s L e t t e r

2017年10月31日

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 大野直竹
大阪市北区梅田 3-3-5

インドネシア共和国ブカシ地区

大型マルチテナント型物流施設「DMLP フェーズ I-2」概要決定

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）とインドネシア共和国（以下、インドネシア）で工業団地の開発・造成を行っているブカシ・ファジャール・インダストリアル・エステート（PT Bekasi Fajar Industrial Estate Tbk. 以下、BEST 社）の共同事業体である、ダイワ・マヌンガル・ロジスティック・プロパティ（PT Daiwa Manunggal Logistik Properti）は、インドネシア西ジャワ州ブカシ地区において、大型マルチテナント型物流施設「DMLP フェーズ I-2」を2017年10月2日に着工し、概要が決定しましたのでお知らせします。



【DMLP フェーズ I-1、2】

当社は、BEST 社が西ジャワ州ブカシ地区にて開発していた工業団地事業「MM2100 工業団地」に2013年2月に参画し、その一部を「ダイワ・マヌンガル(MM2100)工業団地」（総開発面積約1,450ha※1）として開発を開始しました。

また、インドネシアでは事例の少ない「コールドチェーン」※2対応の冷凍冷蔵機能を備えた物流施設※3やレンタル工場、当社ではインドネシア初となるマルチテナント型物流施設「DMLP フェーズ I-1」の開発も手掛けました。

そしてこのたび、「DMLP フェーズ I-1」が好調で全てご入居頂けたことを受け、マルチテナント型物流施設第2弾となる「DMLP フェーズ I-2」を2017年10月2日に着工しました。

今後、当社グループが保有する経営資源（建築物の調査・設計・施工、建物の管理・運営に関するノウハウ）を組合せ、海外で物流施設を検討されている日系企業様や世界各国の企業様に対して誘致活動を行って行き、お客さまのニーズに合わせた物流施設の開発を拡大していく予定です。

※1. 予定地含む。

※2. 生鮮食品や冷凍食品などを生産地から消費地まで一貫して低温の状態を保ったまま流通させること。

※3. 当社が本工業団地に川西倉庫株式会社様を誘致し、設計・施工を行い、2017年9月に引き渡し。

●ポイント

1. 物流網の需要が高まる、インドネシアでの物流施設の開発
2. 最大4テナントの入居が可能なマルチテナント型物流施設開発

1. 物流網の需要が高まる、インドネシア・ブカシ地区での物流施設の開発

インドネシアは、人口約 2 億 6,500 万人と世界第 4 位の人口を擁し、2030 年には 2 億 9,500 万人^{※4}に増加すると見込まれている新興国です。近年では、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、インターネット通販等の流通業が急成長していますが、17,000 以上の島々から成る世界最大の島国で、物流の発展が遅れているため、物流網の構築を急ぐべく、物流施設の需要が高まっています。そこで当社は、多くの工業団地と隣接し、生産から物流までの施設を一貫して提供できるブカシ地区において、今後も需要が見込める物流施設の開発を拡充することとしました。

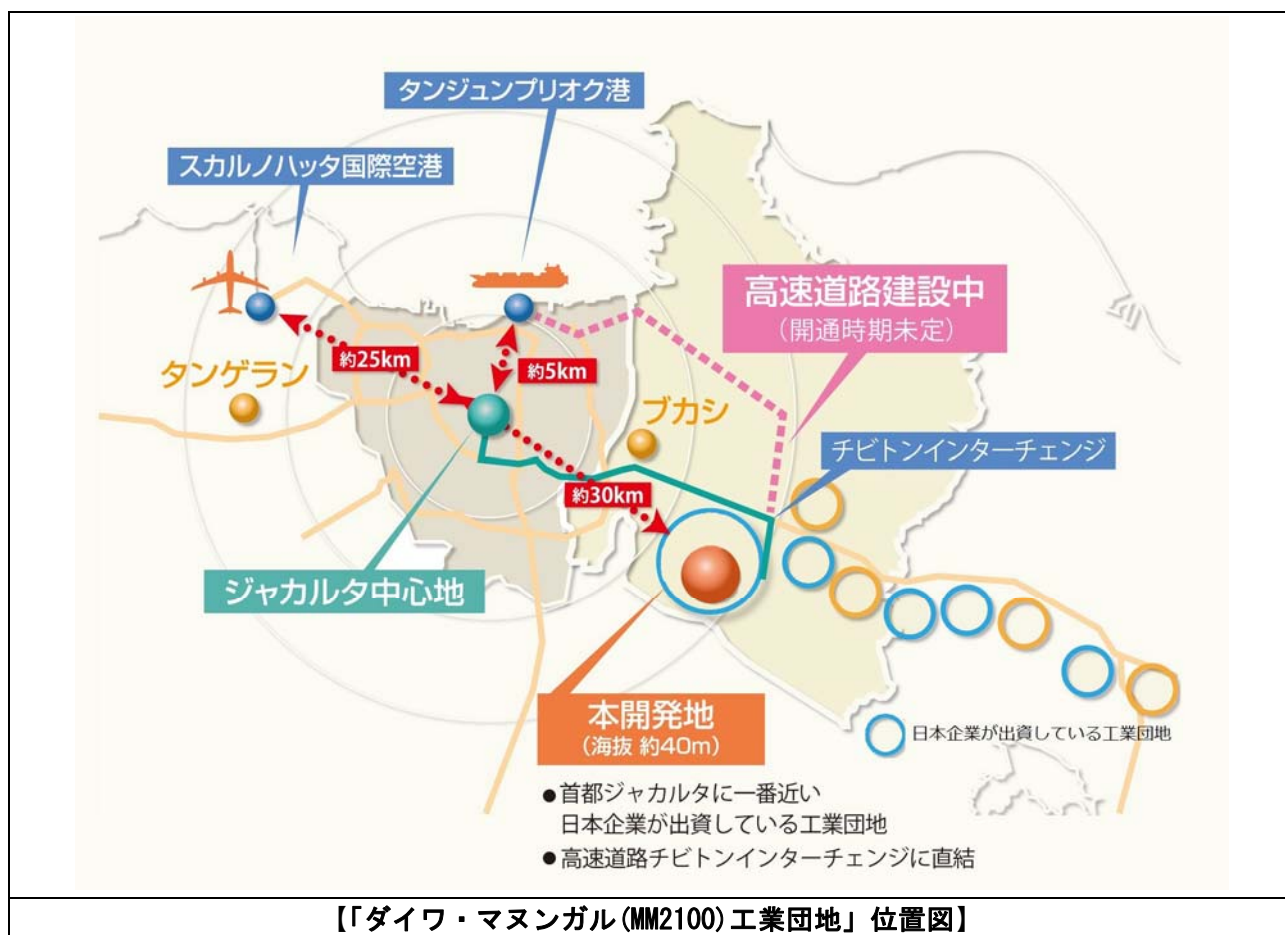
当地区は、ジャカルタ・チカンペック高速道路「チビトン インターチェンジ」まで約 500m、ジャカルタ中心地（スマンギ交差点）まで約 30km に位置しています。また、インドネシア最大級のコンテナ取扱量を誇る国際商業港湾「タンジュンプリオク港」まで約 35km、「スカルノハッタ国際空港」まで約 55km と、海と空の玄関口にアクセスしやすい立地となっています。

※4. 「World Population Prospects : The 2017 Revision」の将来推計人口の中位推計値を参照。

2. 最大 4 テナントの入居が可能なマルチテナント型物流施設開発

「DMLP フェーズ I-2」は、延床面積約 26,500 m²で、隣接する「DMLP フェーズ I-1」とあわせて、延床面積約 50,000 m²^{※5}の広さを誇る物流施設です。「DMLP フェーズ I-2」は、最大 4 テナントの入居が可能で、約 5,000 m²の区画からご入居いただける、マルチテナント型物流施設です。

※5. 東京ドーム約 1 個分



■今後について

2019 年までに、「ダイワ・マヌンガル(MM2100)工業団地」内の「DMLP フェーズ II」(約 47,500 m²)において、マルチテナント型や BTS 型^{※6}の物流施設開発を行う予定です。

※6. BTS 型 (Build to Suit) の物流施設とは、特定のお客さま専用の物流施設のこと。

■建物概要

- 名 称 : 「DMLP フェーズ I - 2」
- 所 在 地 : インドネシア共和国西ジャワ州ブカシ県西チカラン MM2100 工業団地内
(MM2100 Industrial Estate, Cikarang Barat, Bekasi, West Java, Indonesia)
- 交 通 : ジャカルターチカンペック高速道路「チビトン インターチェンジ」まで約 500m
ジャカルタの中心地まで約 30km
タンジュンプリオク港まで約 35km
スカルノハッタ国際空港まで約 55km
- 敷地面積 : 約 47,500 m² (約 14,380 坪)
- 延床面積 : 約 26,500 m² (約 8,020 坪)
- 構造・階数 : 鉄筋コンクリート造 平屋建て
- 建物用途 : マルチテナント型物流施設
- 事 業 主 : PT Daiwa Manunggal Logistik Properti
(ダイワ・マヌンガル・ロジスティック・プロパティ)
- 設計・施工 : PT Daiwa Tetra Manunggal Konstruksi
(ダイワ・テトラ・マヌンガル・コンストラクシ)
- 本体着工 : 2017 年 10 月 2 日
- 竣 工 : 2018 年 5 月 (予定)
- 入 居 : 2018 年 6 月 (予定)
- 総投資額 : 約 13 億円
- お客さま
お問合せ先 : 担当 : 増田(マスダ) 電話 : +62-21-252-1176

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	東京広報グループ	03-5214-2112
	広報グループ	06-6342-1381